



9 子育てサロン



開設年月日 平成13年9月
 開催拠点 みなみ公民館
 連絡先 TEL：0296-72-1477
 代表者 甲斐 邦子

サロンのテーマ・目的

《子育てサロンとミニ集会》子育て中の母親にホッとできる場を提供し、リラックスして子育てが出来るようなきっかけとします。更に親子の交流と情報交換の場とし楽しめることです。

1回の参加人数 平均 20人
 1回運営スタッフ数 平均 10人
 利用料（参加費） なし
 年間予算額 137,000円
 （平成20年度実績）（内訳）助成金 75,000円
 自主財源 62,000円

活動の概要

子育て中の母親（家族）と子が自由に参加し、リラックスできる場の提供。

- 自由遊び（親子、子ども同士）→同年齢の友達との遊び・交流。
- ミニ集会（親同士、親と更生保護女性会員）→子育ての情報交換、その他。
- おしゃべり（団欒）→子育ての情報交換。
- おやつ、ティータイム→楽しい雰囲気。

身近な人材や施設など地域の社会資源の活用

- 笠間市社協の支援→助成金・研修会の情報。開設時の施設借用アドバイス。
- みなみ公民館の借用→午前子育てサロン。午後会員研修（反省、次回の打ち合わせ）。
- 笠間市更生保護女性会笠間支部の会員全員がスタッフとして年間3～5回参加。

サロンの特徴

- 笠間市更生保護女性会笠間支部による企画運営。
- 更女会員の見守りと援助（必要に応じて対応）。
- ホットとする場の提供。
- 自由に集える場。
- 自由遊びと母親のおしゃべりの場。





サロン実施にあたって苦労したこと

人集め

<運営スタッフ>

- 子育て支援に関する考え方が様々。(共通理解が必要)
→保育・教職等の経験会員を講師として研修会を実施。
→サロン実施後に反省会を実施(次回への引継等)。

<参加者>

- 開設当初は、保育所的内容を期待しての参加者が多く、次回参加につながらず参加者0名の時もありました。
→市、市社協の広報誌、子育てパンフレット等での周知。
→関係機関への周知。
→参加者から友達への紹介(口コミ等)。

活動拠点

みなみ公民館の開設年度と「子育てサロン」創設が同時期であり、市社協のアドバイスと支援により、公民館ホール借用が可能となりました。

財源

- 県社協助成金
ボランティア基金サークル事業申請(市社協からの助言)
- 市社協助成金
ボランティア活動助成金として申請
- 市更生保護女性笠間支部費

サロン開催の効果

<母親>

- 同じ立場に立つ母親同士が友達になり、育児や家庭のことを自由に話し、共に考え、育児に関する情報交換ができました。

<子ども>

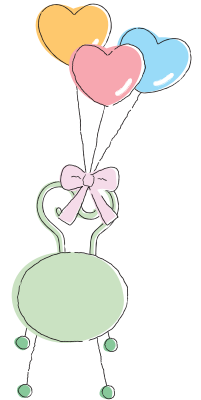
- 広い場所で自由に遊び、同年齢の子ども同士の関わりができました。
- 一人っ子が兄・姉・弟・妹の立場を経験し、周りの人達から声かけをしてもらえました。

<更女会員>

- 子ども達の成長に喜びと感動を味わい、母親と子ども達から元気を頂く事が多い。また、若い母親の考えにふれる事ができました。

サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

- 年齢が進むにつれ室内より外での遊びを要望する様子が見られます。活動場所をどうするか。
- 0歳から3歳の乳幼児の参加が主であり、転倒事故等が発生した時の対応が心配されます。
- 活動助成金が将来どうなるか。
- 会員の高齢化と若い会員増をどのように図っていくか。



委員からのプレゼント

価値観の押しつけも、特別なプログラムもないところがこのサロンの魅力。生き生きと遊ぶ子どもたちや楽しそうに語らうお母さんたちの背後には、さりげない心配りをするスタッフの姿がありました。地域に自分たち親子を暖かく見守ってくれる人がいるという安心感が、お母さんたちを勇気づけ子どもの育ちを応援するのですね。

(関 美紀子委員)